

株式会社ギガプライズ
2024年4月期 第2四半期 決算説明会 質疑応答（要旨）
（2023年11月17日開催）

当決算説明会における主な質疑応答の要旨は、以下の通りです。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、加筆修正しております。

Q. 1	自己株式取得と配当還元に関する議論について教えてください。
A. 1	自己株式の取得および配当については取締役会で関連な意見交換ができております。配当については、株主様への重要な還元策のひとつと考えており、さらに成長を続けて企業価値向上と株主還元を増やしていくことが責務だと考えております。

Q. 2	オーガニックな純増戸数の見通しについて教えてください。
A. 2	純増戸数は15万戸前後を見込んでおります。

Q. 3	純増戸数15万戸前後を継続するにあたって受注に余裕があるか教えてください。
A. 3	既存物件は、お客さまの事情によって左右されます。当社としては、顧客数の増加により全体で獲得し維持できるように取り組んでいるところです。

Q. 4	一般社団法人集合住宅デジタル高度化協議会の結成について教えてください。
A. 4	現在、日本全国には約2,300万戸の集合住宅があり、その中の約500万戸にサービスが導入されておりますが、品質を担保する基準やガイドラインが一切ない状態で市場が拡大し続けています。入居者を含めたユーザーさまに安心してご利用いただくことで、全戸型のISP市場がより一層広がり、信頼されていくと考えております。業界全体の信用力向上のためのよい取り組みだと思っております。

Q. 5	ランニング収益の増加数に対しての利益率が下がっている要因について教えてください。
A. 5	提供するサービスの契約内容の構成比による影響と、通信機器の調達方法をリースから買取へ段階的にシフトしていることが要因になります。利益率を下げるような特別な事象はありません。

Q. 6	QoQで提供戸数がやや減少している要因について教えてください。
A. 6	1Qはお客さまの特殊要因があったため例年より増加しました。提供戸数については、多少お客さまの事情によって左右されることもあり2Qはやや減少しているように感じられるかもしれませんが、全体的に上期は予想値どおりで着地しております。

Q. 7	リプレイス案件の今後の見込みや状況について教えてください。
A. 7	タイミングや案件数を現段階で予測することはできません。全戸型ISPサービスは、お客さまが品質や価格に満足していると切り替える必要がないのですが、通信品質の低下や、契約期間満了が要因で切り替えになることもあります。そのため、当社としては1つのマーケットと捉えており、営業活動を継続していきたいと考えております。

Q. 8	「LIVINGTOWN みなとみらい」について通期は黒字化が可能という認識でよいか教えてください。
A. 8	現段階ではすべてがオープンしておらず上期はすべての賃料が発生していないため、やや赤字となっております。 下期以降は段階的に賃料収入が入ってくるため、月次で黒字転換する予定です。